

## 【研修報告】

# 養護教諭のための発達障がい勉強会

WEST19の講堂を会場として、10月4日、18日の日程で連続2回の講座を行いました。各回の講座を合わせて、120名を超える養護教諭の方にお集まりいただきました。

今年度、初めて養護教諭の方を対象とした発達障がい勉強会を企画しました。「保健室の先生」と一緒に勉強できる貴重な機会となりました。

- ◆第1回（10月4日） 「おがるって何をするとところ？」  
「発達障がいの特性理解と保健室でできそうなこと」  
札幌市自閉症・発達障がい支援センターおがる所長 加藤 潔

私たち「おがる」の機能や利用の仕方についての説明と、発達障がいの児童生徒にとっての保健室の役割についてのお話をさせていただきました。

保健室は児童生徒にとって、少し休憩ができたり、励ましてもらえたり、安心できるマルチな空間であり、教室での居場所に悩む児童生徒のオアシスです。「保健室の先生」は、彼らを支える岩のような存在であり、私たちは学校の中で重要なキーパーソンだと考えています。



- ◆第2回（10月18日）「保健室ではこんなことをやっています（話題提供）」  
札幌市立太平南小学校 養護教諭 佐藤 朋美氏

佐藤先生からは養護教諭としての日々の実践や迷ったり、悩んだりしてしまうことを、わかりやすくお話いただきました。参加された先生方からも多くの共感の意見がありました。その後はグループに分かれてテーマに沿った話し合いをしていただきました。笑い声も聞こえ、とても活発な意見交流がされました。



グループワークの様子

### ＜アンケートでいただいた内容＞

- \*今、困っていることの解決のヒントをたくさんいただきました。
- \*自分の現在かかえている問題が、他のところもあり自分だけではないんだと安心しました。
- \*佐藤先生のお話は共感できること、自分自身を見直せることが多くあり聞いてよかったです。
- \*保健室という場で養護教諭としてできることが、少し見えた気がしました。来週からがんばれそうな気がします。

ご参加いただいた養護教諭の皆様ありがとうございました。